

「投資信託及び投資法人に関する法律」が一部改正され、2014年12月1日以降に計算期間(または作成対象期間)の末日を迎えるファンドより運用報告書が「交付運用報告書」と「運用報告書(全体版)」に二段階化されることとなりました。「運用報告書(全体版)」の入手方法につきましては、本表紙の<閲覧方法>をご覧ください。

第3期末(2014年12月10日)	
基準価額	11,274円
純資産総額	733百万円
(2014年6月11日～2014年12月10日)	
騰落率	21.7%
分配金	1,000円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

交付運用報告書

イーストスプリング・タイ株式オープン

追加型投信／海外／株式

第3期(決算日:2014年12月10日)

作成対象期間(2014年6月11日～2014年12月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・タイ株式オープン」は、2014年12月10日に第3期の決算を行いました。当ファンドは、主にタイの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

[お問い合わせ先]

電話番号

03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス

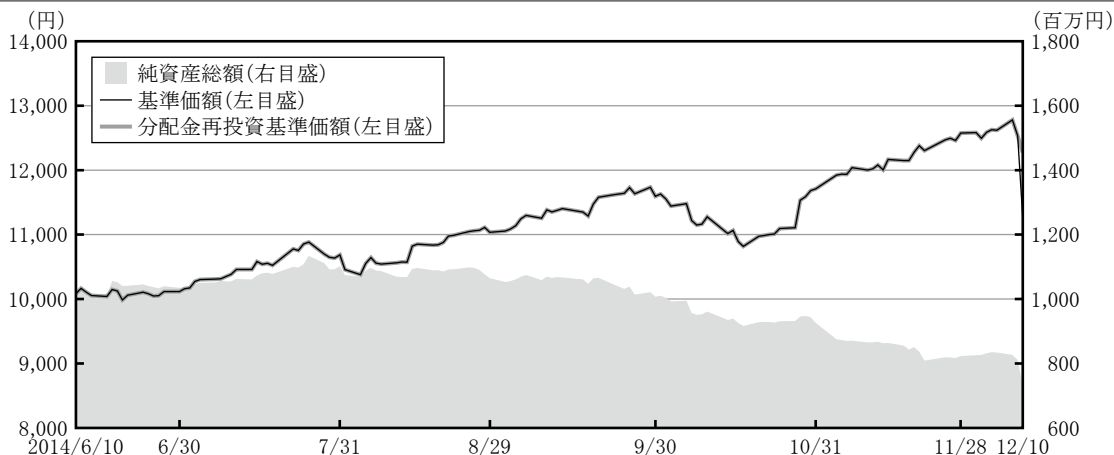
<http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

当期中の基準価額等の推移について(第3期:2014年6月11日から2014年12月10日まで)



第3期首	10,087円
第3期末	11,274円(既払分配金1,000円)
騰落率	21.7%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

基準価額の主な変動要因

2014年5月のクーデター後の政治を巡る不透明感の後退や、暫定政権による新たな経済政策への期待でタイ株式が上昇したことに加え、為替市場でバツ高円安となったことにより基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2014/6/11 ～2014/12/10		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	81円	0.715%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,286円です。
(投信会社)	(34)	(0.295)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(46)	(0.409)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	6	0.055	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(5)	(0.047)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務管理にかかる登録手数料
合計	87	0.770	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

	2013/6/28 設定日	2013/12/10 決算日	2014/12/10 決算日
基準価額(分配落) (円)	10,000	9,723	11,274
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	1,000
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△2.8	26.2
純資産総額 (百万円)	763	1,267	733

投資環境について

○海外株式市況

期初から2014年9月末までは、5月のクーデター後の政治を巡る不透明感の後退や、クーデターで全権を掌握した国家平和秩序評議会 (NCPO) または暫定政権による新たな経済政策への期待を背景に、タイ株式市場は上昇しました。しかし、10月、国際通貨基金 (IMF) が世界経済の成長見通しを下方修正したことを受けて世界的に株式市場が下落する中で、タイ株式市場も連れ安となりました。その後、10月下旬に欧州中央銀行が社債の買入れを検討していると報じられたことを受けて世界的にリスク回避姿勢が和らぎ、タイ株式市場は反発しました。

○為替市況

タイバーツは7月に株式市場への海外からの資金流入を受けて対米ドルで上昇しましたが、その後期末にかけて下落傾向となりました。しかし、日米の金融政策の方向性の違いを背景に、大幅な米ドル高円安が進行したことから、タイバーツは対円で上昇しました。

○国内債券市況

10年国債利回りは、期初から8月にかけて景気回復の鈍さを背景に低下傾向となりました。その後は、9月に米国債利回り上昇に連れて上昇しましたが、10月末にかけて再び低下しました。また、11月にも消費税率引上げの先送り観測から利回りが一時上昇する場面がありましたが、その後は低下に転じ、期末時点では期中で最も低い水準となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・タイランド・エクイティ・ファンド (以下「タイランド・エクイティ」という場合があります。) の組入比率を高位に保つよう運用しました。

○タイランド・エクイティ

タイランド・エクイティでは、タイ株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は、国営エネルギー株や空港サービス株の保有などがプラス要因となりました。

○イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。国内債券市場の利回り水準が低位で推移すると見通しのもと、デュレーションを概ね長めに維持し、実際に長期の債券の金利低下が大きかったことからパフォーマンスにプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、経費控除後の配当等収益・基準価額水準等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第3期	
	2014年6月11日 ～2014年12月10日	
当期分配金 (円)	1,000	
(対基準価額比率) (%)	8.147	
当期の収益 (円)	1,000	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,273	

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるタイランド・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

○タイランド・エクイティ

2014年5月のクーデター後は、旧政権下で停滞した経済政策が進展し、景気は回復に向かうと期待感が高まりましたが、足元の回復は勢いを欠いています。政府は2014年の成長率見通しを徐々に引下げましたが、2015年は回復が見込まれています。タイ株式市場は2014年に入ってアジアの他の地域と比較して堅調に推移する状況が続いていることから、相対的な割安感の低下が見られますが、今後もマクロ環境だけでなく、政治の動向も注視しながら、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選択に注力し、割安な銘柄の選定を行っていく所存です。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もデュレーションを長めに維持しつつ、ファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1－10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

○重大な約款変更や信託契約の解約等において行われる書面決議に伴う手続き(決議要件の緩和、反対者の買取請求の不適用等)について、信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日:2014年12月1日)

○運用報告書(全体版)の交付に代えて、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法による提供を可能とするため、信託約款に所要の変更を行いました。

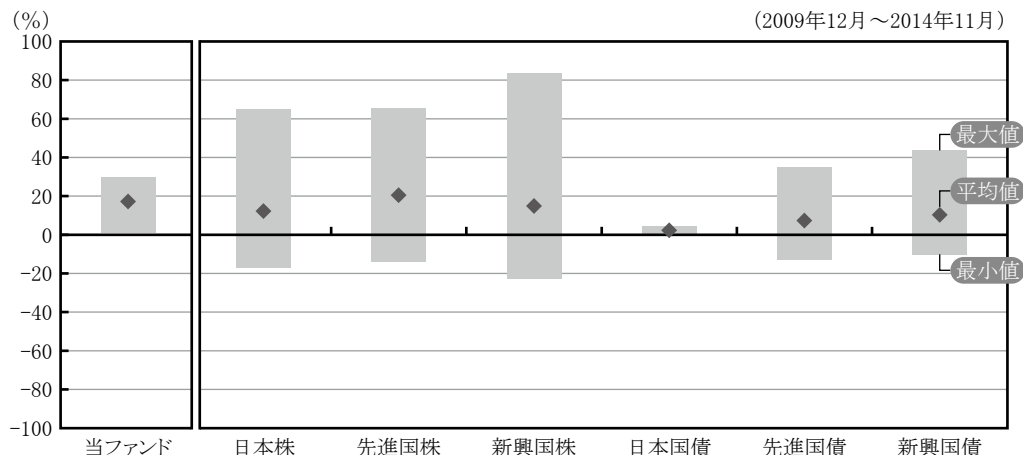
(変更日:2014年12月1日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年6月28日から2023年6月12日まで
運用方針	主にタイの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド」の投資証券(米ドル建て)および国内籍証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年6月10日および12月10日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	17.2	12.3	20.4	14.9	2.3	7.3	10.3
最大値	28.9	65.0	65.6	83.7	4.1	34.9	43.7
最小値	1.2	-17.0	-13.7	-22.9	0.4	-12.7	-10.1

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2009年12月から2014年11月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは2013年6月28日に設定されたため、ファンドの年間騰落率は2014年6月以降のデータをもとに表示しています。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

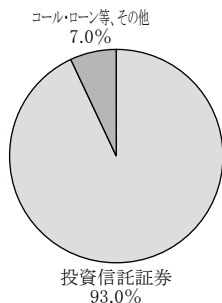
○組入ファンド等

(組入銘柄数:2銘柄)

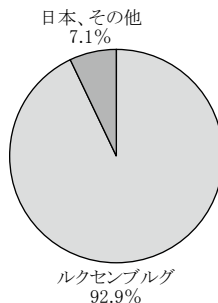
ファンド名	第3期末 2014年12月10日
イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド	92.9%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)	0.1%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

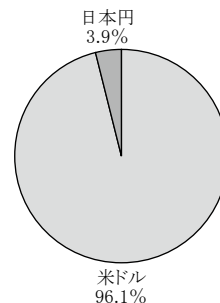
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第3期末 2014年12月10日
純資産総額	733,817,414円
受益権総口数	650,902,786口
1万口当たり基準価額	11,274円

* 当期中において追加設定元本額は145,859,065円、一部解約元本額は507,520,754円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ－タイランド・エクイティ・ファンド

(計算期間 2013年1月1日～2013年12月31日)

○基準価額の推移



○組入上位10銘柄

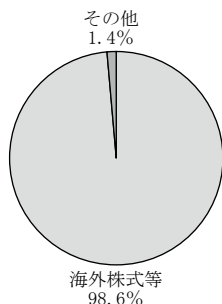
(組入銘柄数:50銘柄)

銘柄名	業種	国・地域	比率
PTT PCL/FOREIGN	エネルギー	タイ	10.1%
PTT EXPLORATION & PROD-FOR	エネルギー	タイ	9.7%
SIAM COMMERCIAL BANK-FOREIGN	銀行	タイ	6.4%
KASIKORN BANK PCL-FOREIGN	銀行	タイ	6.2%
ADVANCED INFO SERVICE-FOR	電気通信サービス	タイ	5.8%
SIAM CEMENT PCL-NVDR	素材	タイ	4.7%
PTT GLOBAL CHEMICAL PCL-FOR	素材	タイ	4.6%
CP ALL PCL-FOREIGN	食品・生活必需品小売り	タイ	4.3%
KRUNG THAI BANK PUB CO-FOREI	銀行	タイ	3.2%
CHAROEN POKPHAND FOOD-FORGN	食品・飲料・タバコ	タイ	3.0%

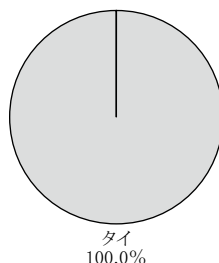
○1万口当たりの費用の明細

タイランド・エクイティのAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用の明細が開示がされていないため、記載できません。

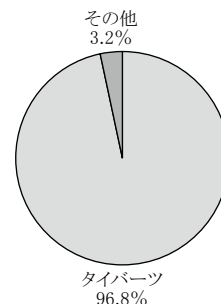
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額(1口当たり純資産価格)の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの入手可能な直近の決算日現在のものです。

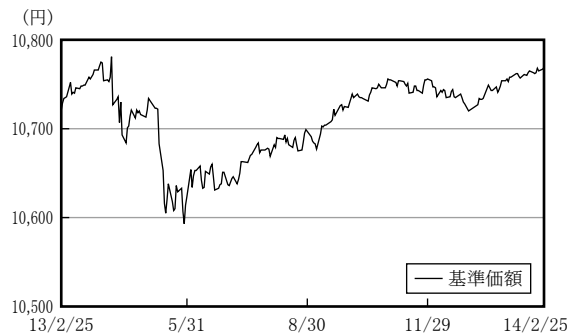
(注3) 組入上位10銘柄、資産別配分、通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

(計算期間 2013年2月26日～2014年2月25日)

○基準価額の推移



○組入上位10銘柄

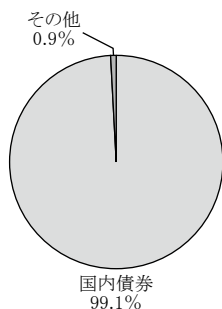
(組入銘柄数:28銘柄)

銘柄名	種別	国・地域	比率
第280回利付国債(10年)	国債	日本	10.8%
第328回利付国債(10年)	国債	日本	7.2%
第277回利付国債(10年)	国債	日本	6.8%
第102回利付国債(5年)	国債	日本	6.5%
第285回利付国債(10年)	国債	日本	6.0%
第308回利付国債(10年)	国債	日本	4.2%
第48回利付国債(20年)	国債	日本	4.1%
第42回利付国債(20年)	国債	日本	4.0%
第63回利付国債(20年)	国債	日本	4.0%
第298回利付国債(10年)	国債	日本	3.8%

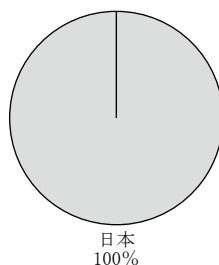
○1万口当たりの費用の明細

項目	当期
(a) 信託報酬	22円
(投信会社)	(14)
(販売会社)	(2)
(受託銀行)	(6)
(b) 保管費用等	2
合計	24

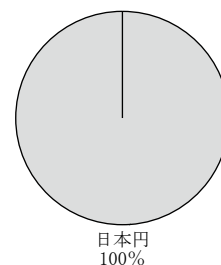
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用の明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 期中の費用は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注4) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注5) 比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

- ・バンクオブアメリカ・メルリンチは、バンクオブアメリカ・メルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。